



なかしん

中小企業景況レポート

No.29 中栄信用金庫 地域支援部

平成30年10月～12月実績と平成31年1月～3月見込み

◆調査概要

調査時期 平成30年12月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 347社
回答企業数 333社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	97	94	96.9
卸売業	30	29	96.6
小売・飲食業	60	55	91.6
サービス業	57	56	98.2
建設業	66	63	95.4
不動産業	37	36	97.2
合計	347	333	95.9

◆10月～12月期の概況

～業況判断 D.I. は過去最高、人手不足感は依然として根強い～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は 11.2 を示し、前回調査（平成30年7～9月期）に比べ 4.4 ポイントの改善となりました。

これは堅調な受注を確保する製造業や建設業に加え、福祉・介護関連において利用者数の増加がみられたほか、季節需要や年末需要等を取り込んだ個人消費の持ち直しの動きにより、売上額・収益 D.I. がともにプラス域に転じたことから、全業種の景況感は平成29年12月期の 7.0 を上回り、調査開始以来最も高い値となっております。一方、人手不足 D.I. は前回からほぼ横這いの 39.3 となる中、人手不足の影響が生産・営業活動等の幅広い分野でみられるとともに、最低賃金の改定も実施されたことから、人件費の増加を懸念する企業が増加しております。

また特別調査によると、2019年の日本の景気見通しを「良い局面」と回答した企業が約2割に対し、「悪い局面」と回答した企業が約3割となり、材料・仕入価格の上昇に加え、人手不足の深刻化や消費増税の影響への懸念により、先行きに慎重な様子が見えられます。

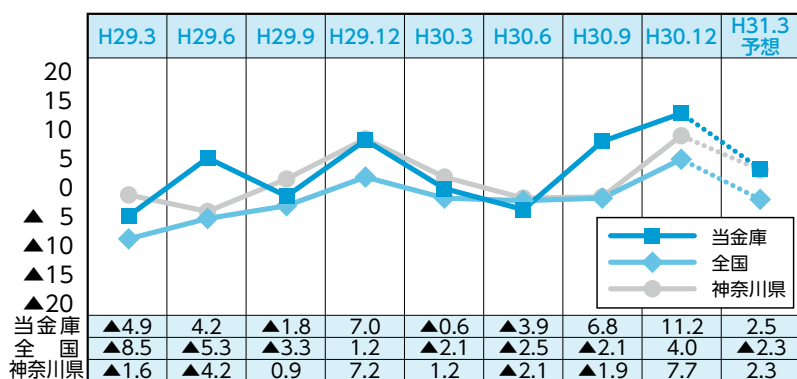
項目別にみると、売上実績 D.I. は 15.9 ポイント改善の 15.0、収益実績 D.I. は 14.5 ポイント改善の 10.6 となっております。また、仕入価格 D.I. はほぼ横這いの 31.3、資金繰り D.I. はほぼ横這いの ▲11.7 となっております。また業種別の景況感は、卸売業が 22.2 ポイント改善の ▲20.7、不動産業が 14.3 ポイント改善の 20.0、製造業が 8.3 ポイント改善の 37.3、サービス業が 2.5 ポイント改善の ▲7.1、小売・飲食業が 2.0 ポイント小幅悪化の ▲12.8、建設業が 6.3 ポイント悪化の 19.1 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は 6.1 ポイント改善の 4.0、神奈川県内については 9.6 ポイント改善の 7.7 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆1月～3月期の見通し

来期の業況判断予想は、8.7 ポイント悪化の 2.5、売上額 D.I. は 18.0 ポイント悪化の ▲3.0、収益 D.I. は 17.3 ポイント悪化の ▲6.7 の予想となっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

概況

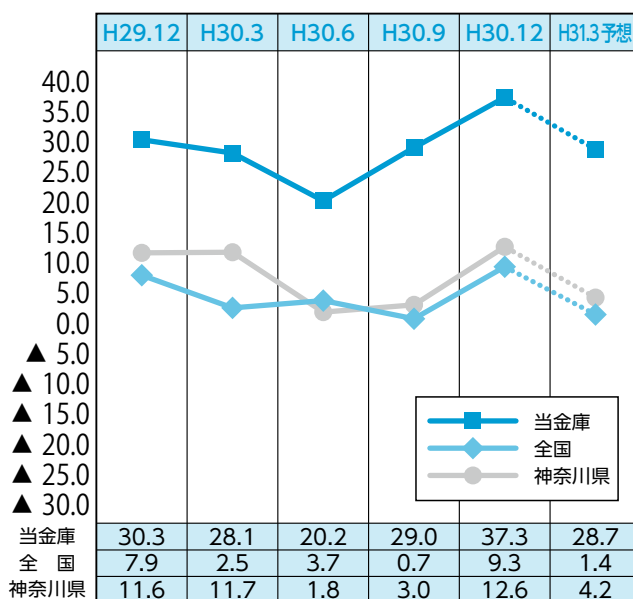
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 8.3 ポイント改善の 37.3 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 14.8 ポイント改善の 27.7、収益 D.I. は 20.1 ポイント改善の 21.2 となっております。

自動車部品や金属部品関連を中心とした旺盛な受注状況に加え、一部企業では、機械設備の導入に伴う稼働率の向上や原材料、人件費等のコスト上昇分の価格転嫁もみられたことから、景況感は調査開始以来、最も高い値となっております。また設備の不足感が強まる中、増産・販売力強化に向け、工場の移転・拡張を検討する動きや固定資産の減税措置等の活用により、多様な受注案件に対応可能な先端設備の導入を検討する動きが見受けられます。

なお、全国は 8.6 ポイント改善の 9.3 となっており、神奈川県は 9.6 ポイント改善の 12.6 となっております。

来期の予想業況判断については、8.6 ポイント悪化の 28.7 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	34.4	44.1	21.5	D.I. 12.9
当期実績	43.6	40.5	15.9	27.7
来期予想	28.7	50.1	21.2	7.5
前年同期比	42.5	34.1	23.4	19.1

販売価格

前期実績	8.6	87.1	4.3	D.I. 4.3
当期実績	10.6	83.1	6.3	4.3
来期予想	8.5	87.3	4.2	4.3

在庫

前期実績	7.5	89.3	3.2	D.I. 4.3
当期実績	6.4	88.3	5.3	1.1
来期予想	7.5	88.2	4.3	3.2

人手

前期実績	1.0	47.4	51.6	D.I. 50.6
当期実績	2.1	56.5	41.4	39.3
来期予想	1.0	57.6	41.4	40.4

収益

前期実績	27.9	45.3	26.8	D.I. 1.1
当期実績	38.2	44.8	17.0	21.2
来期予想	25.5	51.1	23.4	2.1
前年同期比	37.2	39.4	23.4	13.8

原材料価格

前期実績	40.8	59.2	D.I. 40.8
当期実績	35.8	64.2	35.8
来期予想	22.5	76.5	1.0 21.5

資金繰り

前期実績	18.2	65.7	16.1	D.I. 2.1
当期実績	17.0	65.0	18.0	▲1.0
来期予想	10.6	72.4	17.0	▲6.4

設備状況

前期実績	2.1	76.0	21.9	D.I. ▲19.8
当期実績		72.1	27.9	▲27.9
来期予想	1.0	73.0	26.0	▲25.0

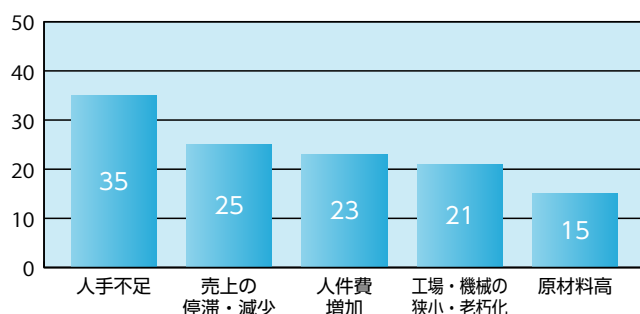
当期実績…30年10～12月期
来期予想…31年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

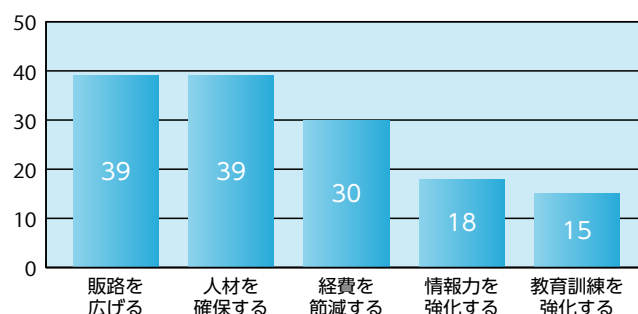
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

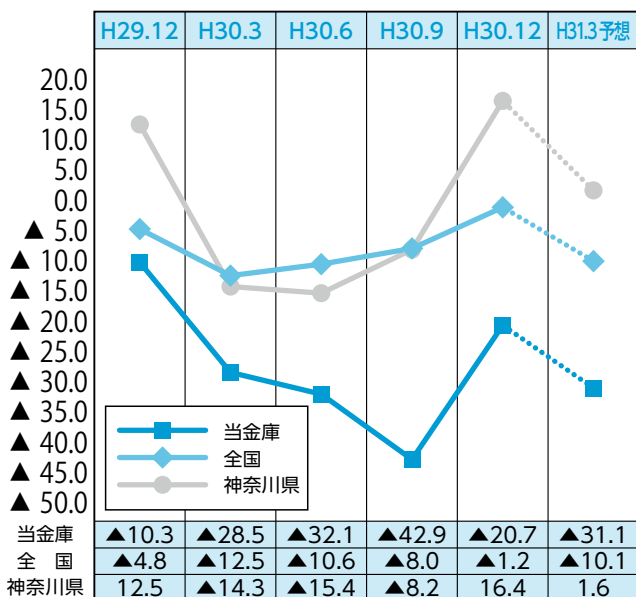
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 22.2 ポイント改善の▲20.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 35.6 ポイント改善の 3.4、収益 D.I. は 46.2 ポイント改善の 6.9 となっております。

経営上の問題点として、仕入先からの値上げ要請を挙げる企業が増加し、仕入価格 D.I. は、9.4 ポイント上昇の 38.0 となる中、建材卸や食料品卸を中心とした売上の回復に加え、一部の建材卸においては、営業人材の確保や台風の影響による復旧需要がみられたことから、景況感は 1 年ぶりの改善となっております。

なお、全国は 6.8 ポイント改善の▲1.2 となっており、神奈川県は 24.6 ポイント改善の 16.4 となっております。

来期の予想業況判断については、10.4 ポイント悪化の▲31.1 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	17.8	32.2	50.0	D.I. ▲32.2
当期実績	34.4	34.6	31.0	3.4
来期予想	▲10.3	58.7	31.0	▲20.7
前年同期比	27.5	38.1	34.4	▲6.9

販売価格

前期実績	17.8	64.4	17.8	D.I. 0.0
当期実績	20.6	69.1	10.3	10.3
来期予想	20.6	69.1	10.3	10.3

在庫

前期実績	28.5	68.0	3.5	D.I. 25.0
当期実績	▲10.3	82.9	6.8	3.5
来期予想	▲6.8	93.2		6.8

人手

前期実績	▲3.5	68.0	28.5	D.I. ▲25.0
当期実績	▲3.4	55.3	41.3	▲37.9
来期予想		62.1	37.9	▲37.9

収益

前期実績	▲10.7	39.3	50.0	D.I. ▲39.3
当期実績	37.9	31.1	31.0	6.9
来期予想	▲10.3	55.3	34.4	▲24.1
前年同期比	17.2	48.4	34.4	▲17.2

仕入価格

前期実績	35.7	57.2	7.1	D.I. 28.6
当期実績	44.8	48.4	6.8	38.0
来期予想	31.0	62.2	6.8	24.2

資金繰り

前期実績	▲7.1	50.1	42.8	D.I. ▲35.7
当期実績	▲6.8	58.8	34.4	▲27.6
来期予想	▲3.4	76.0	20.6	▲17.2

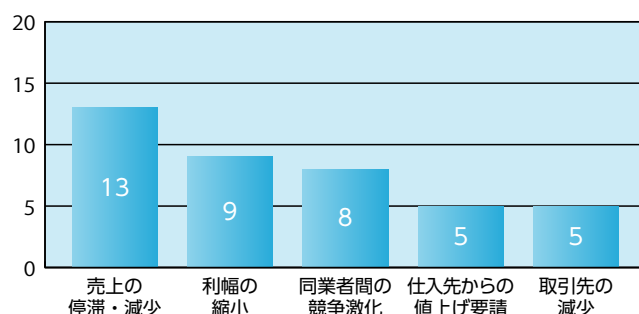
設備状況

前期実績	▲7.1	78.7	14.2	D.I. ▲7.1
当期実績	▲3.4	82.9	13.7	▲10.3
来期予想	▲3.4	82.9	13.7	▲10.3

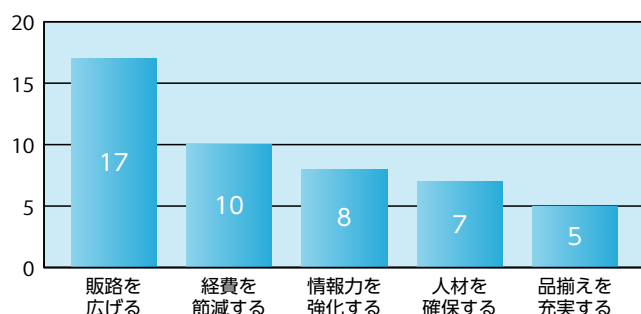
当期実績…30年10～12月期
来期予想…31年 1～3月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

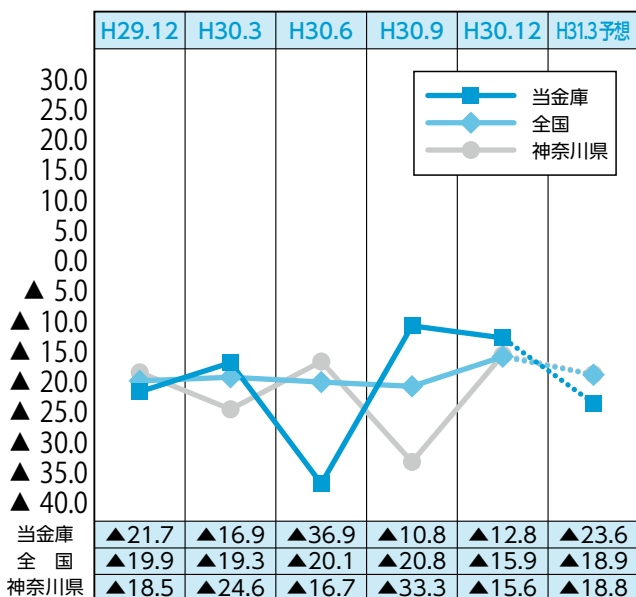
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.0 ポイント小幅悪化の▲12.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 17.9 ポイント改善の 5.4、収益 D.I. は 10.8 ポイント改善の 5.4 となっております。

季節需要や年末需要の取り込みに加え、一部では、地域活性化イベントへの参加により、飲食店や食料品小売業を中心に客足の回復がみられたものの、人手不足や最低賃金の改定に伴う人件費の増加が足かせとなり、景況感は小幅悪化となっております。また経営上の問題点として、約半数の企業が売上の停滞・減少を挙げる中、地域資源を活用した商品の販路拡大、情報発信等により、販売強化に努める動きも見受けられます。

なお、全国は 4.9 ポイント改善の▲15.9 となっており、神奈川県は 17.7 ポイント改善の▲15.6 となっております。

来期の予想業況判断については、10.8 ポイント悪化の▲23.6 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	26.7	34.1	39.2	D.I. ▲12.5
当期実績	29.0	47.4	23.6	5.4
来期予想	16.3	47.4	36.3	▲20.0
前年同期比	20.0	49.1	30.9	▲10.9

販売価格

前期実績	17.8	76.9	5.3	D.I. 12.5
当期実績	18.1	71.0	10.9	7.2
来期予想	10.9	80.1	9.0	1.9

在庫

前期実績	16.0	80.5	3.5	D.I. 12.5
当期実績	10.9	83.7	5.4	5.5
来期予想	7.2	87.4	5.4	1.8

人手

前期実績	1.7	64.4	33.9	D.I. ▲32.2
当期実績	60.0	40.0		▲40.0
来期予想	1.8	69.2	29.0	▲27.2

収益

前期実績	26.7	41.2	32.1	D.I. ▲5.4
当期実績	27.2	51.0	21.8	5.4
来期予想	20.0	47.3	32.7	▲12.7
前年同期比	21.8	47.3	30.9	▲9.1

仕入価格

前期実績	35.7	60.8	3.5	D.I. 32.2
当期実績	27.2	63.8	9.0	18.2
来期予想	29.0	65.6	5.4	23.6

資金繰り

前期実績	7.1	57.2	35.7	D.I. ▲28.6
当期実績	9.0	65.6	25.4	▲16.4
来期予想	12.7	58.3	29.0	▲16.3

設備状況

前期実績	87.5	12.5		D.I. ▲12.5
当期実績	87.1	12.9		▲12.9
来期予想	85.2	14.8		▲14.8

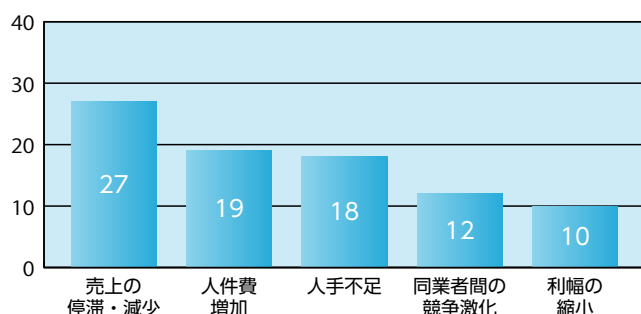
当期実績…30年10～12月期
来期予想…31年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

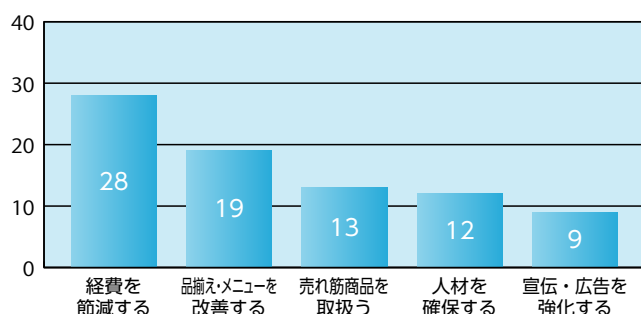
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

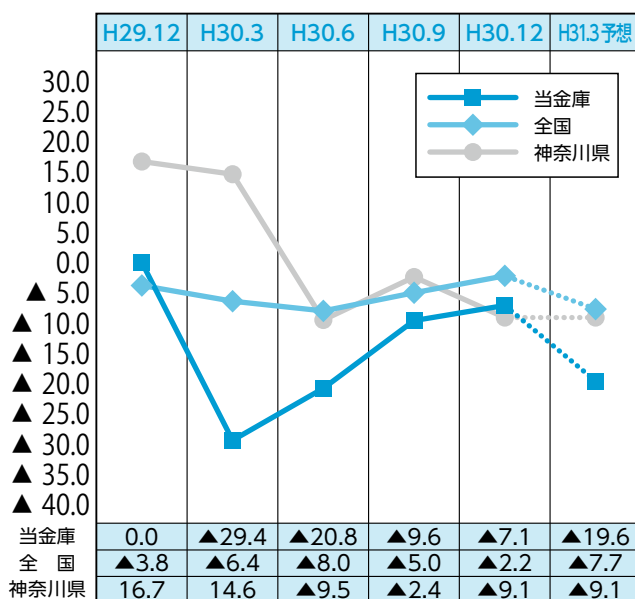
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.5 ポイント改善の▲7.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 16.4 ポイント改善の 12.5、収益 D.I. は 11.2 ポイント改善の 5.4 となっております。

これは高齢化の進展や競合他社との差別化に向けたサービス向上等の自助努力により、福祉・介護事業において、利用者数の増加がみられたことから、売上額・収益 D.I. がプラス域に転じ、景況感は 3 期連続の改善となっております。また経営上の問題点として、店舗・設備の老朽化を挙げる企業が増加し、機械・設備の更改を検討する動きは見受けられるものの、今後の業況見通しは不透明なことから、設備投資に慎重な様子もうかがえます。

なお、全国は 2.8 ポイント改善の▲2.2 となっており、神奈川県は 6.7 ポイント悪化の▲9.1 となっております。

来期の予想業況判断については、12.5 ポイント悪化の▲19.6 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	32.6	30.9	36.5	D.I. ▲3.9
当期実績	41.0	30.5	28.5	12.5
来期予想	21.4	39.4	39.2	▲17.8
前年同期比	46.4	19.7	33.9	12.5

料金価格

前期実績	9.6	84.7	5.7	D.I. 3.9
当期実績	14.5	80.1	5.4	9.1
来期予想	9.0	82.0	9.0	0.0

資金繰り

前期実績	11.5	57.8	30.7	D.I. ▲19.2
当期実績	14.2	50.1	35.7	▲21.5
来期予想	5.3	59.0	35.7	▲30.4

設備状況

前期実績	3.8	73.2	23.0	D.I. ▲19.2
当期実績	3.7	72.3	24.0	▲20.3
来期予想	3.7	68.0	28.3	▲24.6

当期実績…30年10～12月期
来期予想…31年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

収益

前期実績	28.8	36.6	34.6	D.I. ▲5.8
当期実績	35.7	34.0	30.3	5.4
来期予想	16.0	43.0	41.0	▲25.0
前年同期比	39.2	25.1	35.7	3.5

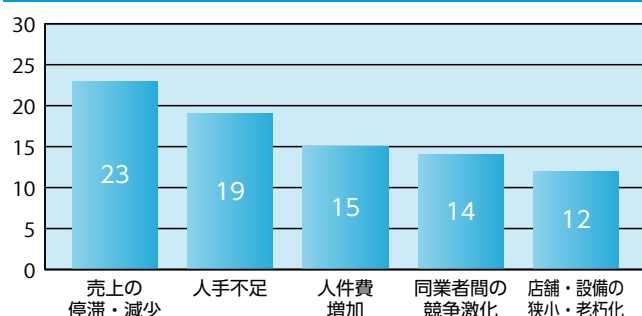
材料価格

前期実績	33.3	64.8	1.9	D.I. 31.4
当期実績	36.3	63.7		36.3
来期予想	21.8	76.4	1.8	20.0

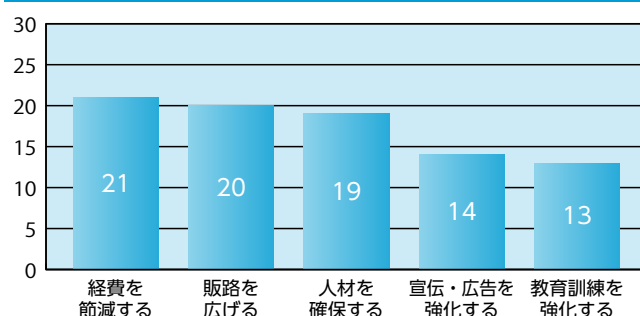
人手

前期実績	11.7	47.2	41.1	D.I. ▲29.4
当期実績	1.7	57.3	41.0	▲39.3
来期予想	3.5	55.5	41.0	▲37.5

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

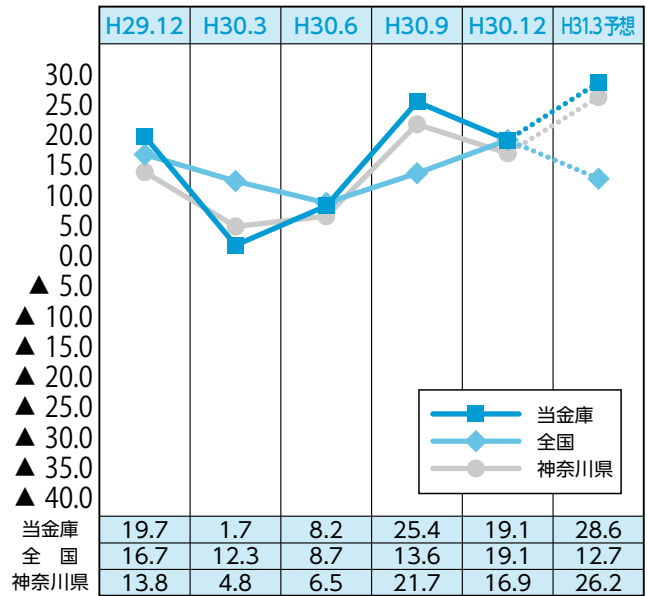
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 6.3 ポイント悪化の 19.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査 9.5 ポイント改善の 19.1、収益 D.I. は 1.6 ポイント小幅改善の 6.3 となっております。

公共工事や大型の民間工事受注を確保する企業は多く見受けられるものの、建設資材不足による材料価格 D.I. の高止まりに加え、外注費や材料費等の支払い先行に伴う資金繰りの悪化が足かせとなり、景況感は悪化に至ったものと思われます。また一部では、東京五輪特需による建設資材不足を背景に、工期遅れが生じている企業や遠方の工事受注により、移動費用や燃料費の増加から収益の確保に苦慮する企業も見受けられます。

全国は 5.5 ポイント改善の 19.1 となっており、神奈川県は 4.8 ポイント悪化の 16.9 となっております。

来期の予想業況判断については、9.5 ポイント改善の 28.6 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	34.9	39.8	25.3	D.I. 9.6
当期実績	36.5	46.1	17.4	19.1
来期予想	30.1	57.3	12.6	17.5
前年同期比	34.9	42.9	22.2	12.7

請負価格

前期実績	6.3	84.2	9.5	D.I. ▲3.2
当期実績	7.9	77.9	14.2	▲6.3
来期予想	7.9	84.2	7.9	0.0

在庫

前期実績	1.5	93.8	4.7	D.I. ▲3.2
当期実績	7.9	90.6	1.5	6.4
来期予想	4.7	93.8	1.5	3.2

人手

前期実績	1.6	42.0	56.4	D.I. ▲54.8
当期実績	42.9	57.1		▲57.1
来期予想	39.7	60.3		▲60.3

収益

前期実績	28.5	47.7	23.8	D.I. 4.7
当期実績	26.9	52.5	20.6	6.3
来期予想	26.9	58.9	14.2	12.7
前年同期比	23.8	57.2	19.0	4.8

材料価格

前期実績	31.7	65.2	3.1	D.I. 28.6
当期実績	39.6	60.4		39.6
来期予想	26.9	73.1		26.9

資金繰り

前期実績	12.6	70.0	17.4	D.I. ▲4.8
当期実績	7.9	68.3	23.8	▲15.9
来期予想	4.7	76.3	19.0	▲14.3

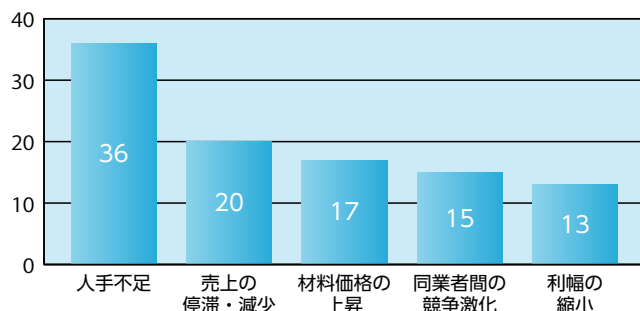
設備状況

前期実績	1.5	90.6	7.9	D.I. ▲6.4
当期実績	1.5	92.2	6.3	▲4.8
来期予想	1.5	93.8	4.7	▲3.2

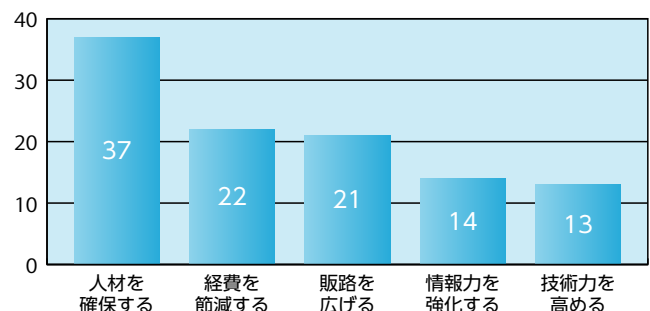
当期実績…30年10～12月期
来期予想…31年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

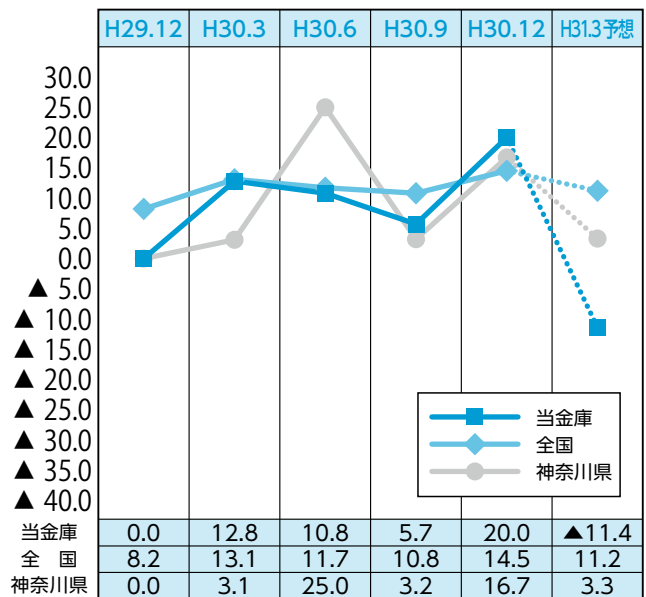
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 14.3 ポイント改善の 20.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 11.1 ポイント改善の 2.8、収益 D.I. は 8.6 ポイント改善の 8.6 となっております。

今後の消費増税の動向とともに増税に伴う負担軽減策の影響も注視される中、協力会社と共同した仕入規模の拡大や広告・宣伝等の販売強化により、県央・湘南エリアに加え、秦野・伊勢原エリアにおいても商品物件の販売に動きがみられたことから、売上額・収益 D.I. がプラス域に転じ、景況感は調査開始以来最も高い値となっております。

なお、全国は 3.7 ポイント改善の 14.5 となっており、神奈川県は 13.5 ポイント改善の 16.7 となっております。

来期の予想業況判断については、31.4 ポイント悪化の▲11.4 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	19.4	52.9	27.7	D.I. ▲8.3
当期実績	25.0	52.8	22.2	2.8
来期予想	16.6	64.0	19.4	▲2.8
前年同期比	33.3	47.3	19.4	13.9

販売価格

前期実績	2.7	69.6	27.7	D.I. ▲25.0
当期実績	2.8	77.2	20.0	▲17.2
来期予想	5.7	71.5	22.8	▲17.1

在庫

前期実績	8.3	50.1	41.6	D.I. ▲33.3
当期実績	8.5	48.7	42.8	▲34.3
来期予想	8.5	51.5	40.0	▲31.5

人手

前期実績	83.4	16.6	D.I. ▲16.6
当期実績	2.7	86.2	11.1 ▲8.4
来期予想	2.7	83.5	13.8 ▲11.1

収益

前期実績	25.0	50.0	25.0	D.I. 0.0
当期実績	20.0	68.6	11.4	8.6
来期予想	11.4	65.8	22.8	▲11.4
前年同期比	27.7	61.2	11.1	16.6

仕入価格

前期実績	19.4	69.5	11.1	D.I. 8.3
当期実績	17.1	77.2	5.7	11.4
来期予想	25.7	68.6	5.7	20.0

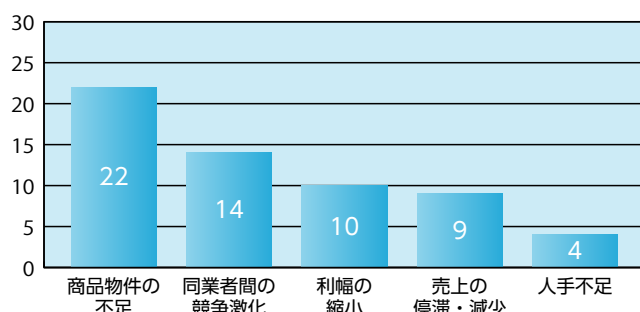
資金繰り

前期実績	11.1	80.6	8.3	D.I. 2.8
当期実績	11.1	80.6	8.3	2.8
来期予想	8.3	75.1	16.6	▲8.3

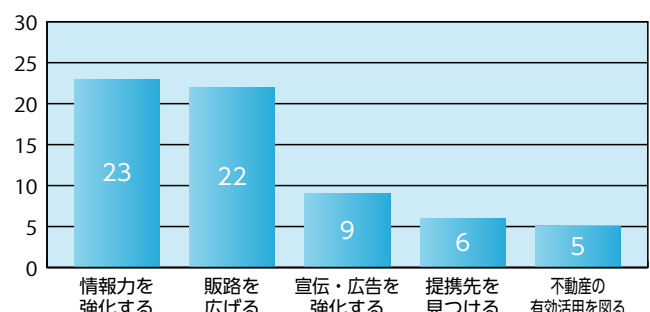
当期実績…30年10～12月期
来期予想…31年1～3月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



問 1. 貴社では、2019 年の日本の景気をどのように見通していますか。1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|---------|-------|---------|------|
| ○ 非常に良い | 2 社 | ○ やや悪い | 89 社 |
| ○ 良い | 19 社 | ○ 悪い | 18 社 |
| ○ やや良い | 47 社 | ○ 非常に悪い | 1 社 |
| ○ 普通 | 156 社 | | |

問 2. 貴社では、2019 年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|---------|-------|---------|------|
| ○ 非常に良い | 1 社 | ○ やや悪い | 71 社 |
| ○ 良い | 19 社 | ○ 悪い | 21 社 |
| ○ やや良い | 45 社 | ○ 非常に悪い | 4 社 |
| ○ 普通 | 171 社 | | |

問 3. 2019 年において貴社の売上額の伸び率は、2018 年に比べおおよそどのくらいになると見通していますか。1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|-------------|-------|-------------|------|
| ○ 30%以上の増加 | 11 社 | ○ 10%未満の減少 | 53 社 |
| ○ 20~29%の増加 | 4 社 | ○ 10~19%の減少 | 18 社 |
| ○ 10~19%の増加 | 28 社 | ○ 20~29%の減少 | 3 社 |
| ○ 10%未満の増加 | 65 社 | ○ 30%以上の減少 | 2 社 |
| ○ 変わらない | 147 社 | | |

問 4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|-------------|------|-----------------|------|
| ○ すでに上向いている | 65 社 | ○ 3年後 | 26 社 |
| ○ 6ヶ月以内 | 31 社 | ○ 3年超 | 25 社 |
| ○ 1年後 | 44 社 | ○ 業況改善の見通しは立たない | 93 社 |
| ○ 2年後 | 29 社 | | |

問 5. 2018 年は、地震や台風などの自然災害が相次いだほか、豪雪・寒波や豪雨、猛暑といった異常気象も各地で発生しました。2018 年の貴社の経営について、最も影響を受けた自然災害や異常気象を 1 つ選んでお答えください。また、受けた影響について、最も当てはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | 最も影響を受けた自然災害等 | 経営に受けた影響 | | |
|---------------|----------|---------------------|-------|
| ○ 特になし | 157 社 | ○ 影響は受けなかった | 155 社 |
| ○ 台風・豪雨 | 109 社 | ○ 売上・受注の減少 | 65 社 |
| ○ 猛暑 | 53 社 | ○ 仕入・調達・納期の遅れ | 60 社 |
| ○ 地震・噴火 | 13 社 | ○ 復旧需要など、むしろ好影響があった | 18 社 |
| ○ 豪雪・寒波 | 2 社 | ○ 店舗設備や工場等の損壊 | 12 社 |

「第 7 回ビジネスマッチング with かながわ 8 信金」を開催します！

日	時	2019年6月7日(金) 8:50~17:00
場	所	大さん橋ホール 横浜市中区海岸通1-1-4
募 集 対 象 企 業		製造・食品・物販関係
募 集 規 模 (予 定)		発注・バイヤー企業 100社 受注・サプライヤー企業 300社
参 加 費		無料 ※展示出展料は有料
募 集 期 間		発注・バイヤー企業 2018年12月10日~2019年2月8日 受注・サプライヤー企業 2019年2月18日~2019年3月20日 ※募集予定企業数に達した場合、募集を締め切らせていただく場合がございます。
専用ホームページURL		https://kanagawa-matching.8shinkin.jp/

中栄信用金庫を含む神奈川県の 8 信用金庫では、県内で活動される企業を中心に、新たなビジネスパートナーを見つけていただくため、製造・食品・物販関係の事業者を対象とした個別商談会を開催します。
今回は、展示ブースコーナー(有料)の他、「大学・研究機関との技術マッチングの開催」「支援機関との相談ブースの設置」「他県との連携」等を行う予定です。

○第6回商談会の様子



詳しくは、当金庫ホームページまたはお近くの営業店までお問い合わせください。